

# 「ひのくに道場」受講後の社内5S改善活動推進

○澤邑高義（緒方工業 OG-UP推進室・事務局）

## 1.はじめに

くまもとテクノ産業財団主催の「ひのくに道場」を2000年5月に受講した。ひのくに道場は地場企業の生産現場力の強化を図る目的で実施されているもので、生産現場における作業ロスや設備ロスを見つけ出し、ムダを徹底排除するという現場改善の基本を学んでいく活動である。この「ひのくに道場」で学んだことを自社に持ちかえり徹底的なムダ排除とロスゼロに向けての基本活動を「5S」と位置付け、「整理・整頓・清掃・清潔・躰」の徹底により、顧客満足度向上と職場環境改善両立に向けて活動を推進してきた。

## 2.会社概要

当社は熊本市中心部、熊本城下に位置し表面処理（めっき）を通し地域社会に貢献し、人々の幸せを創造している会社である。

## 3.テーマ選定にあたって

現在多くの企業はリストラ、合併、ワークシェアの導入と生き残りをかけ必死の努力中である。このような時代にこそマネジメントとして5Sを組織全体で展開し不況の嵐に耐える強靱な肉体を作らなければならない。5Sは「仕事そのもの」を合言葉に「TOPの熱意とメンバーのやる気」で、人の考えが変わり、職場が変わり、仕事が変わるまで繰り返し継続的に行っていく。

OG＝緒方工業 UP＝スキルアップ（能力向上）略OG-UP＝5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）を通して全社員のスキルアップを図る活動とする。

## 4.5S活動全社推進キックオフ大会開催

活動目的・意義を説明し全社員の意識統一を図る（教育含）



問合せ先：緒方工業 OG-UP推進室 澤邑高義

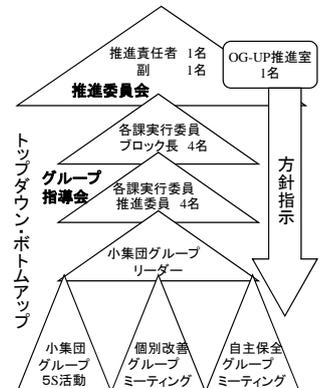
TEL096-352-4450 E-mail:ogup@ogic.ne.jp

5S活動は3カ年を1クールとし整理～躰迄を行イスパイラル方式により永久的に活動を行っていく。第一クールとして2000年3月～2003年3月迄実施。全社員（93名）を40グループに分け活動を行い、5Sの各ステップ終了時には診断シートを用い、課長診断で85点以上取れた時にTOP診断（社長・部長）に進み80点で合格とし次ステップに進む。

	2000年				2001年				2002年			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
活動内容	5S活動パートI 工場をきれいに、5Sを習慣化しよう								パートII 一流の5S工場にしよう			
イベント	整理 赤札作戦 不要物の撤去		整頓 目で見える整頓 3定の徹底 目で見える整頓		清掃 3ナイ改善 物が乱れにくい 職場が汚れない		清潔・躰 ピカピカ作戦 床・壁・天井大掃除		同様イベント 改善報告 診断を企画			
診断	5S写真展 全グループ 掲示		ハトール 実施 目で見える 3定展		改善事例 紹介 全体朝礼		標語 募集		総合診断			

## 5.推進委員会の設立

社長を推進委員長としトップダウン・ボトムアップで全社活動できる委員会を設立。事務局がブロック長・推進委員をまとめ2回/週、推進委員会・指導会にて活動の進捗状況を確認していく。



## 6.活動状況

第一ステップ「整理」

整理とは「必要な物と不必要な物に分け不必要な物は捨てる」

- ・要らない物に赤エフを貼り、理由・数量をチェック。
- ・全社で不要物が23000点、4トントラック2台分廃棄！
- ・不要物撤去後「改善写真展」「トップ診断実施」



## 第二ステップ「整頓」

整頓とは「定位・定品・定量の3定を徹底し、取りだし易く戻し易い置き方を決める」こと。

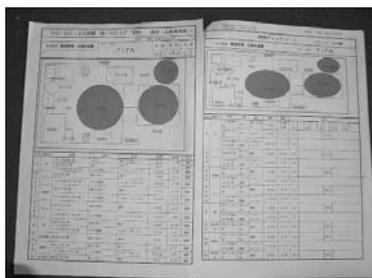
- ・3定の実施で通路線置き場、区画線の明確化の徹底。
- ・物には品名・数量表示の徹底。



## 第三ステップ「清掃」

清掃とは「ゴミなし、汚れなしの徹底的な大掃除を行い、清掃基準書で維持管理の徹底を行う」こと。

- ・拭く、磨く、落とす、塗るの徹底。
- ・発生源、困難箇所対策後、清掃基準書・チェックシートを作成し、清掃の徹底を図る。



## 第四ステップ「清潔」

清潔とは整理・整頓・清掃の3Sを維持し、いつも綺麗さを保つ目で見える標準化の徹底。

- ・3Sの再確認と乱れている箇所の再徹底。
- ・目につかない微小なゴミ、汚れの徹底排除。



## 第五ステップ「躰」

決めたことがいつでも守れるように習慣化すること。

- ・服装や挨拶など行動基準を明確にし守れる決まりごとを作る。
- ・繰り返しの訓練で5Sをきちんと出来る人づくり。

## 7.活動実績

・整理で不用品の廃棄を行った事でフロアの有効活用が出来、不用品を別部署で使用した為、購入量の削減に繋がった。

・整頓で3定を実施したことで日々の清掃時間が短縮出来た。

(全社 8800min→4100min 53%清掃時間短縮！)

・通路や置場を明確にした事で、作業効率も改善でき30%の納期短縮を達成！

## 8.その他改善活動

### 1) 何故どうして?カードの提出

社内で疑問に思ったことを何でも質問し誠意を持って答えるカード。全社員最低1件/月提出とし1月分をまとめて食堂に掲示し職場環境改善のツールとする。

### 2) 5S新聞発行

グループ活動状況や指導会、トップ診断風景などを新聞にし1回/月配布。活動板に大判で掲示。



## 9.まとめ

5Sはトップから作業員まで誰でも活用できるマネジメントツールであることがわかった。設備・人・作業を見直すことによりムダ・ムラ・ムリを顕在化させ対策した事により、作業は楽になり生産性を向上させた活動となった。